## 

明るくなり、トイレの数も増えました









改修の優先目的は「便器の数が足りない」です。そして「失敗した時のお尻を流すシャワーが欲しい」「増加している園児に対しトイレの面積が狭い」「手洗い用の流しが使いにくい」等々。

平成2年に建築されたトイレは25年経過し「使いにくい」トイレでした。 思い切って今夏、トイレ改修です。面積、便器増設、お尻洗い温水シャワーパン、自動水洗手洗い、更に暖房便座まで設置しました。

大人のトイレと大きく異なる点があります。それは「トイレのパーテーションがない」です。幼児トイレの現在の主流はこのスタイルです。そして思わぬ好結果も生まれました。

それはお友達のまねをして「**トイレトレーニングができる!**」です。 自分と同じ年代のお友達が上手にトイレを使っているのを見て、「自分も チャレンジしてみよう!」と良い動機になるようです。

トイレ改修することによって「トイレトレーニング」も一歩前進です。



